

スクランブル

編集委員：青少年対策大井第二地区委員会
山中小学校PTA・大井第一小学校PTA
伊藤学園PTA・伊藤中学校OG

編集・発行：大井第二地区スクランブル編集委員会
品川区大井2-27-20 大井第二地域センター内
TEL(3772)2000 FAX(5709)7627
URL: http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000007700/hpg000007613.htm



第2回目イベントは、地区文化祭との連携開催なので、文化祭会場付近がいいけど...場所決めが一番難航しました。二転三転の末、周辺にお住まいの方々のご理解を得て山中小学校の西側道路に決定!

11月17日(第1回イベント開催)
品川はらっぱ探検隊の「はらっぱで遊ぼう大井中央公園の巻」に便乗し、公園周囲の道路でお店やさんや路上遊び「わらしべ通りで遊びましょ」を開催。(前号参照)

9月10日(編集会議の帰り道)
スクランブル編集委員のつづやきが発端だった。打合せを重ねること、思いが迷走、夢がふくらみ、いつしかフリマはカーニバルへと発展した。各種届出や案内に奔走する日々、投げ出したくなる晩をいくつも乗り越え、やり遂げた翌朝、昨日ここにテントがあったんだよ。楽しかったね!と道路を指さす笑顔の母子に会った。「そっだよ! 昨日のカーニバルは幻じやなかったんだ!」

9月某日(団体名命名)
フリマ登録には団体名が必要!紙面を跳び出したスクランブルだから「スクランブル3D」にしよう!

9月某日(各種届出)
清掃局へフリマの団体登録、道路使用申請は警察署、道路や火を使うので消防署への届出、食べ物を扱うから保健所へ届出...ふう予想以上に大変でした!

12月5日(文化祭実行委員長の鶴見さんに相談)
「最近住み相互の顔が見えにくくなっていて。こういう機会は大事だと思っ。応援するよ。」と心強いエール。

2月20日(事前練習)
曲が流れると、突然踊り出す「フラッシュモブ」をやるろう!伊藤学園OGがアレンジした簡易版振付を練習!

11月2月(場所決め)
第2回目イベントは、地区文化祭との連携開催なので、文化祭会場付近がいいけど...場所決めが一番難航しました。二転三転の末、周辺にお住まいの方々のご理解を得て山中小学校の西側道路に決定!



イベント数日前
雨バージョンで設営・配置を再検討!



やってみ隊!! スペシャルスクランブル3D 主催【地区文化祭連携イベント】

ほりだしもの探検カーニバル

とりわけ子どもたちの心を捉えたのは目の前で細長い風船が花や刀に変身するバルーンアート! 大人も心躍ったチンドン屋さん! いろんな曲を即興で演奏「すごい!」



通常雨天は出店しないフリマもほとんどが出店。お客さんと一緒に催しを楽しんだそうです。おもちゃの品定めに夢中の子もいました。



3月2日(第2回イベント開催当日)
小雨降る中、道路から山中小学校内に切替え決行。集った団体は伊藤学園PTA・大1親児の会・山中小や二エコクラブ・品川はらっぱ探検隊・北浜一座・風船の輪などスタッフは50名を超えました。



2階ではパフォーマンス(お琴、笑いヨガ、ジャグリング、遊び歌、エイサー(他)、フェイスベイントやフラッシュモブ「恋するフォークチュンクッキー」で大盛り上がり、まさにカーニバル!



大井一丁目鑑町会ふるまいの甘酒が身体を温め、4種のポップコーンに心弾み、道路のテント内で七輪を囲むべっこう飴づくりや焼もち・焼マシマロが大盛況!



素人軍団の運営でしたが、地域センターの手厚いフォロー、たくさんの方の理解や協力のもと、無事幕を引く事ができました。またいつか、住民自らが外に繰り出しまち全体がカーニバルになる日を夢見て。
【末松・斉藤・角矢・上村・飯高・嶋村】



スタンプラリーは文化祭会場を巡るほか、被災地復興のどんぐりプロジェクト・ひな人形の顔はめ写真撮影などのお楽しみもあり、好評でした。



土日に開催された文化祭は、地域の方々の書道や生花のみならず、地区の小学生の作品や演奏も楽しめ、素晴らしいです。



階段の両側に張り出されたスクランブルは50号と100号に花が添えられ、全113号の掲示は圧巻でした。



発見!まちのプロフェッショナル

和裁士 鉤持博さん

品川区の伝統工芸保存会会員の方たちで作っている『品川職人組』に所属する和裁士、鉤持博さんを訪ねました。

大学では建築学科を専攻し就職も決まっていたという鉤持さん。それを振り切って、大学卒業と同時に先代に弟子入りしました。最初は師匠でもあるお母様に反対され、運針が出来たら続けてもいいという条件で、1年間はただ着物の袖を縫う事しかさせてもらえなかったそうです。



「男縫い」はしっかりした物ができる

そんな中で鉤持さんは、「楽しく」「着たくなる」着物を作りたいと、日本の伝統を守りつつも、洋服地を使うなど、これまでの和服にはないデザインを、工夫しながら取り入れる着物作りをされています。

裁縫も、ただ教えられたとおりに縫うのではなく、自分でやりやすい合理的な方法を考えながら縫った方がいいとのこと。「和裁には、まだまだ改良の余地がある」という言葉には、創造性を大切に新しい事へ挑戦し続ける熱意を感じました。

若い方たちへの指導にも大変力を入れられていて、小中学校へ浴衣の着付けを教えに行ったり、毎週火曜日にはご自宅で和裁教室を開いています。

色とりどりの生地の美しさと、手縫いのぬくもりを感じられる着物は、着るといふことにとどまらない豊かさを与えてくれる物なのですね。【嶋村・巻山・和田】



なんて楽しそうな演奏会！動物達も楽器も可愛らしいし、色とりどりの花でできたピアノを中心に真上から捉えた構図が素晴らしいですね！人物をもっと練習してみよう！



「森の音楽会」
はあちゃん(山中小3年)

イラスト

とある1年生の教室での会話
やき先生は特別?

先生 「今朝は電車がふつうになってしまってた大変でした。」
子どもA 「先生はいつもふつうじゃない電車に乗ってくるの?」
子どもB 「特急とか? 新幹線とか?」
子どもC 「ちがうよ。先生は女性専用の電車に乗ってるんだよ。」
先生 「みんな。違うのよ。不通(ふつう)ってのは...電車が止まって動かなくなっちゃうことよ。」
子どもB 「なくんだ。先生は特別な電車に乗っているんだと思っちゃった。」
いくら先生でも、毎朝特別な電車を通して「られないよね(笑) 同じ言葉でも意味の違う言葉がいっぱいあるから調べてみるとおもしろいね!」

【真杉・高木】

おみこし かついでみ隊!!



小桜太鼓

祭礼では、勇壮な「天狗太鼓」で有名な権現太鼓の奉納演奏も行われます。大人25名、子ども42名の会員が毎週火曜夜に中小小学校に集い、熱気ある練習を繰り返してました。本番以外は太鼓ではなくゴムタイヤを太鼓にみたてての練習ですが、それでも演奏中の気迫と集中力に感動しました。祭礼での本番演奏は、子どもたちから大人まで4部構成での演奏が圧巻!であり、ぜひ多くの方に見ていただきたいです。

【近藤・渡邊・杉山・井田・高木】

7月6日(日)、権現神社で「福祿寿祭」があります!

祭礼では、神社前で迫力の権現太鼓の奉納演奏のあと、天狗をかたどった手作りのお神輿をかつぎだします。かつぎ手は白塗りのお化粧をして朱やピンクの女物の長襦袢を身にまとっており、その装いとはうらはらに「セイヤ! セイヤ!」と雄々しく勇ましいかけ声をかけながら大井町駅西側を練り歩きます。子ども神輿をかついだり、山車をひいたりする子どもには半纏の貸出しがあり、町を練り歩く可愛い姿がお祭りをさらに盛り上げてくれました。帰りはたくさんのお菓子のプレゼントをもらって大喜び!!

近年はかつぎ手が少なく、二葉や戸越からも助っ人を呼んでいるそうです。来年はみなさんも親子で参加して、一緒にお祭りを盛り上げてみませんか?



「大井蔵王権現神社 例大祭」

大井蔵王権現神社の例大祭を取材しました。同神社は大井一丁目にあり、神社近くの立会道路の八重桜が満開でした。桜は権現神社の象徴であり、例年桜が満開になる4月の第2土曜・日曜(今年は4月12・13日)に祭礼を行っています。江戸時代に入火や疫病が流行り、町民達が奈良の蔵王権現にお参りに行くと、山から天狗が降りてきてお祓いをしてくれたという伝説があるそうです。